

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの 緊急地震速報への活用再開について

障害に伴い緊急地震速報での活用を停止していた東南海ケーブル式常時海底地震観測システムについて、正常動作を確認出来た観測点の活用を再開しました。

8月15日02時40分頃から、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムにおいて発生した障害について、調査の結果、5つの観測点のうち西端の観測点のみで生じたデータの異常であることが確認出来ました。このため、正常動作を確認した4観測点について本日（26日）緊急地震速報への活用を再開しました（別紙参照）。

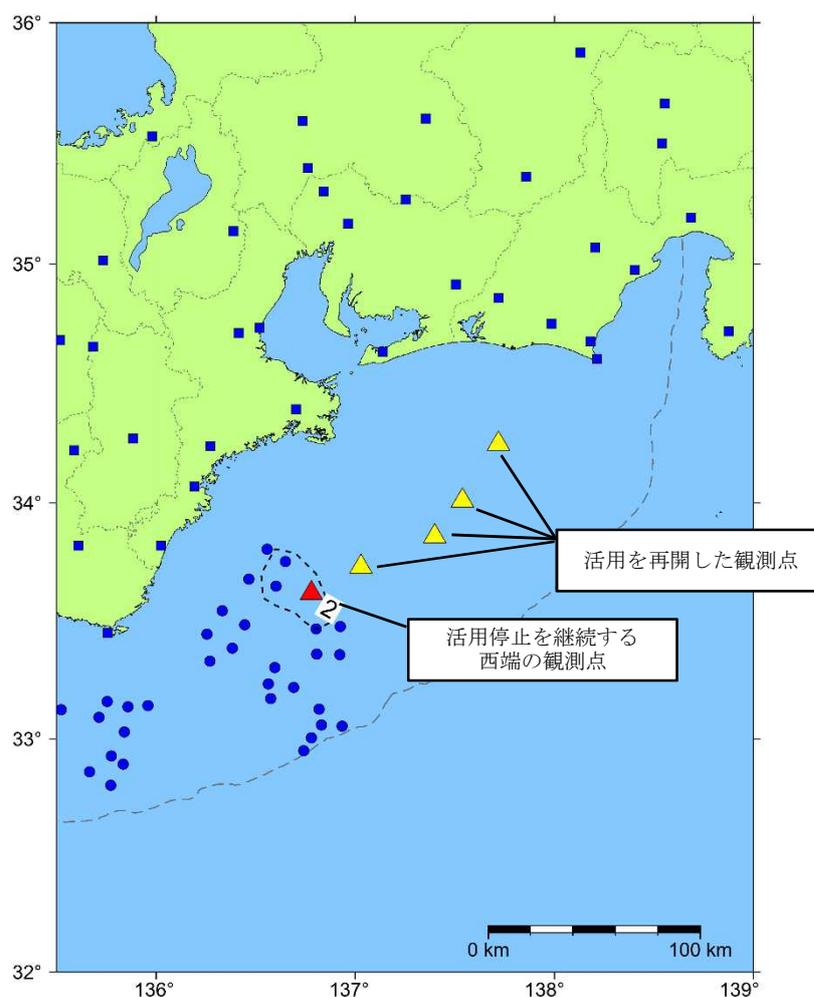
なお、西端の観測点については、緊急地震速報の発表への活用を取りやめていますが、障害調査を継続しています。当該観測点の直下を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で3秒程度遅くなる可能性があります。

問合せ先：地震火山部地震火山技術・調査課 担当 晴山、近澤
電話 03-6758-3900（内線 5246、5282）

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの一部観測点の
緊急地震速報への活用停止に伴う影響について

別紙

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの西端の観測点（海底ケーブルは静岡県御前崎から三重県沖に向けて敷設されており、最も西側の観測点を指す）の緊急地震速報への活用停止により、通常通り活用した状態から発表がどの程度遅れるかの秒数を、図中黒点線の等値線にて示す。



当該海域には、東南海ケーブル式常時海底地震観測システム（▲）、国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システム (DONET) (青●) が設置されており、これらの観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。

黄色▲ : 活用を再開した4観測点

赤色▲ : 活用停止を継続する観測点（最も西側）